

対馬のコガタヨツボシカメムシの記録

さかい
境 よしあき
良朗

コガタヨツボシカメムシ *Homalogonia grisea* Josifov & kerzhner, 1978 は、日本では対馬だけに記録がある大陸系のカメムシである。国外では朝鮮半島、中国に分布している。石川ほか (2012) によると、「わが国では、1995 年に対馬で灯火採集より得られた 1 個体が唯一の採集例であったが、2011 年に同島で 2 個体目が追加された」という。これらの記録については伊藤玲央氏から、「1995 年は上対馬町香ノ木山で 7 月、2011 年は産地不明で 10 月」とのご教示をいただいた (私信)。その後の記録は把握していないが、採集例は極めて少ないと思われる。朝鮮半島ではニレ属とケヤキ属の樹木が寄主植物とされている (Miyamoto & Hayashi, 2004)。

筆者は、採集品の整理中に本種を見出したので報告する。腹部末端節の形状の違いからペアと思われる。

1♂1♀ (写真), 対馬市上県町佐護, 5. VI. 2017, 筆者採集・保管 (体長♂: 11.1mm, ♀: 12.1mm)

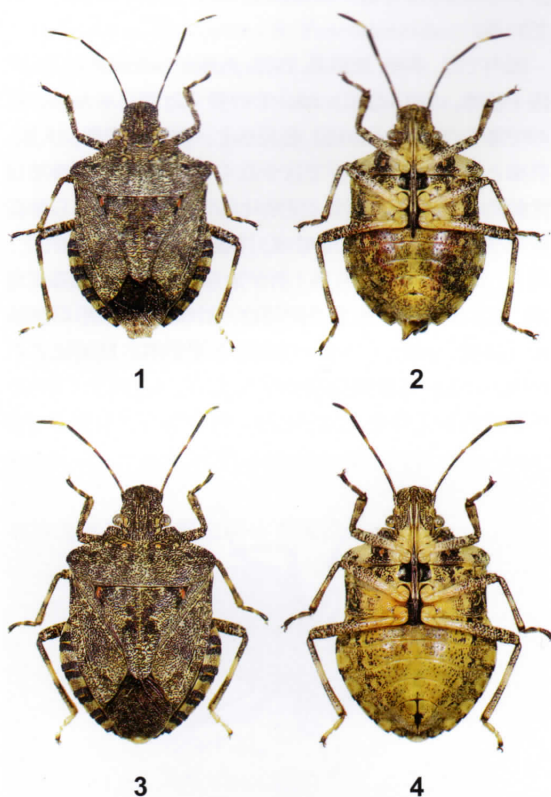


写真1-4. 対馬産コガタヨツボシカメムシ—1, 2: ♂ (1: 背面; 2: 腹面); 3, 4: ♀ (3: 背面; 4: 腹面)

当日の画像フォルダを確認してみたが、残念ながら生態写真は残っていなかった。どのような状況下で採集したのか記憶がないので、スウィーピングなどによって交尾中のものが偶然入ったのであろう。したがって、生態的な知見は不明である。余談であるが、本種はタイリクトビイロサシガメ、ツシマアカサシガメとともに、ごく一部のカメムシ愛好家の間で「対馬裏3大カメムシ」と言われているカメムシの一種である。

最後に、本種に関する文献の恵与でお世話になり、記録についてご教示いただいた伊藤玲央氏にお礼申し上げます。

○引用文献

石川 忠・高井幹夫・安永智秀, 2012. 日本原色カメムシ図鑑第3巻: 475. 全国農村教育協会, 東京.

Miyamoto, S. & M. Hayashi, 2004. New record of two *Homalogonia* bugs (Heteroptera, Pentatomidae) from Japan. *Jpn. J. syst. Ent.* 10(1): 159-160.